



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月25日

上場会社名 **リコーリース株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 瀬川 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 戸谷 浩二 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	77,104	5.7	4,319	0.0	4,326	0.1	3,032	2.2
29年3月期第1四半期	72,941	6.7	4,319	6.2	4,322	6.2	2,967	9.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,961百万円 (0.7%) 29年3月期第1四半期 2,941百万円 (9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	97.14	—
29年3月期第1四半期	95.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	935,319	158,023	16.8	5,039.30
29年3月期	918,864	155,998	16.9	4,975.38

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 157,310百万円 29年3月期 155,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,300	2.1	16,800	△3.1	16,500	△4.0	11,300	△4.0	361.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	31,243,223株	29年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	26,592株	29年3月期	26,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	31,216,631株	29年3月期1Q	31,216,678株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第1四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	72,941	77,104	4,163	5.7
営業利益(百万円)	4,319	4,319	0	0.0
経常利益(百万円)	4,322	4,326	4	0.1
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,967	3,032	65	2.2
1株当たり四半期純利益 (取扱高)	95円05銭	97円14銭	2円09銭	—
リース・割賦事業(百万円)	82,356	97,824	15,468	18.8
金融サービス事業(百万円)	8,680	4,255	△4,425	△51.0
取扱高合計(百万円)	91,036	102,080	11,043	12.1

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策の下支えのもと、輸出の増加や人手不足を背景とした省力化、効率化への需要の高まりなどにより緩やかな回復基調にあります。しかしながら、海外の政治情勢への懸念や地政学リスクの高まりなどから先行きは不透明な状況が続いております。

リース業界においては、平成29年5月累計のリース取扱高は、前年同期比5.2%減少の7,245億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような状況の中、当社グループにおいては、新3ヵ年中期経営計画(中計)をスタートさせ、中計で定めた事業成長戦略と組織能力強化戦略のもと、注力分野に対する営業強化に加えて新規事業領域の開拓を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間における総取扱高は前年同期比12.1%増加の1,020億円となり、営業資産残高は前期末に比べ114億円増加し、7,953億円となりました。

その結果、売上高は営業資産残高の増加に伴い前年同期比5.7%増加の771億円となりました。営業利益は、貸倒費用の減少や資金原価の低減を進めたものの、市場金利の低下に加え競争激化の影響から売上原価率が上昇し、前年同期並みの43億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等合計の減少により前年同期比2.2%増加の30億円となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	70,671	74,520	3,848	3,833	3,701	△132	654,737	667,347	12,610
金融サービス	1,668	1,757	88	702	832	129	121,666	121,888	221
報告セグメント計	72,340	76,277	3,937	4,536	4,533	△2	776,404	789,236	12,831
その他	600	826	225	59	62	3	7,550	6,149	△1,401
合計	72,941	77,104	4,163	4,595	4,595	0	783,955	795,385	11,430

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、国内の設備投資に力強さが欠け、競争激化が継続するなか、事務用機器・情報関連機器、太陽光発電設備を中心とする環境関連機器、車輜及び輸送用機器などの取扱が伸長し、取扱高は978億円と前年同期比18.8%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末から126億円増加し、6,673億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比5.4%増加し745億円となり、セグメント利益は売上原価率の上昇により前年同期比3.5%減少し37億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅関連向け融資は伸長したものの前期にあった法人向け融資の大口契約の反動減により、取扱高は前年同期比51.0%減少の42億円となりました。営業資産残高は、前期末から2億円増加し1,218億円となりました。受取手数料については、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。売上高は前年同期比5.3%増加し17億円となり、セグメント利益は貸倒費用の減少と受取手数料の増加から前年同期比18.5%増加の8億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等が含まれています。売上高は前年同期比37.6%増加の8億円、セグメント利益は前年同期比5.6%増加の62百万円となりました。

また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ14億円減少し61億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成29年6月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産 (百万円)	918,864	935,319	16,454	1.8
*営業資産 (百万円)	783,955	795,385	11,430	1.5
営業資産以外 (百万円)	134,909	139,933	5,024	3.7
純資産 (百万円)	155,998	158,023	2,024	1.3
自己資本比率 (%)	16.9	16.8	△0.1ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、営業資産が114億円増加したことなどから、前期末に比べ164億円増加し9,353億円となりました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による30億円の増加と、剰余金の配当9億円による減少等で、前期末に比べ20億円増加し、1,580億円となりました。自己資本比率は前期末の16.9%から0.1ポイント低下し16.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表した平成30年3月期連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,061	5,918
受取手形及び売掛金	14	13
割賦債権	105,028	117,037
未収賃貸債権	38,020	38,130
リース債権及びリース投資資産	538,028	540,423
営業貸付金	129,217	128,037
その他の営業貸付債権	47,414	48,732
その他の営業資産	5,067	5,064
賃貸料等未収入金	6,210	6,585
その他の流動資産	25,244	23,934
貸倒引当金	△7,731	△7,719
流動資産合計	889,576	906,157
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	20,050	20,209
社用資産	462	447
有形固定資産合計	20,513	20,656
無形固定資産		
賃貸資産	843	848
その他の無形固定資産	1,502	1,427
無形固定資産合計	2,346	2,275
投資その他の資産		
投資有価証券	3,875	3,765
破産更生債権等	1,205	1,147
その他	2,019	1,915
貸倒引当金	△671	△597
投資その他の資産合計	6,428	6,229
固定資産合計	29,288	29,162
資産合計	918,864	935,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,869	12,281
短期借入金	112,115	115,446
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	97,942	81,942
コマーシャル・ペーパー	—	18,000
未払法人税等	2,677	1,590
割賦未実現利益	9,213	11,170
賞与引当金	780	457
役員賞与引当金	35	—
その他の流動負債	49,633	50,133
流動負債合計	329,269	321,023
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	336,636	358,636
退職給付に係る負債	1,023	1,023
その他の固定負債	5,937	6,613
固定負債合計	433,597	456,272
負債合計	762,866	777,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	136,778	138,874
自己株式	△48	△48
株主資本合計	154,787	156,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	867	756
退職給付に係る調整累計額	△340	△329
その他の包括利益累計額合計	526	426
非支配株主持分	683	713
純資産合計	155,998	158,023
負債純資産合計	918,864	935,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	72,941	77,104
売上原価	65,089	69,192
売上総利益	7,851	7,912
販売費及び一般管理費	3,532	3,593
営業利益	4,319	4,319
営業外収益		
受取配当金	2	1
その他の営業外収益	4	8
営業外収益合計	6	10
営業外費用		
支払利息	3	2
その他の営業外費用	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	4,322	4,326
税金等調整前四半期純利益	4,322	4,326
法人税、住民税及び事業税	1,415	1,453
法人税等調整額	△85	△187
法人税等合計	1,330	1,266
四半期純利益	2,992	3,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,967	3,032

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,992	3,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△110
退職給付に係る調整額	3	11
その他の包括利益合計	△50	△99
四半期包括利益	2,941	2,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,916	2,932
非支配株主に係る四半期包括利益	24	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,671	1,668	72,340	600	72,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,671	1,668	72,340	600	72,941
セグメント利益	3,833	702	4,536	59	4,595

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,536
「その他」の区分の利益	59
全社費用(注)	△275
四半期連結損益計算書の営業利益	4,319

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,520	1,757	76,277	826	77,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	74,520	1,757	76,277	826	77,104
セグメント利益	3,701	832	4,533	62	4,595

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,533
「その他」の区分の利益	62
全社費用(注)	△276
四半期連結損益計算書の営業利益	4,319

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。